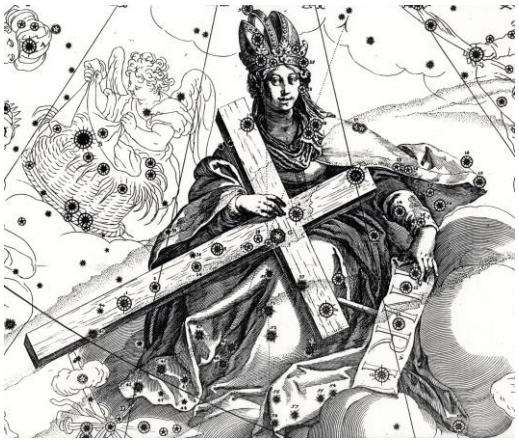
千葉市科学館プラネタリウム・スペシャル番組アストロトーク

『星とクリスマス ～天球図と星図書を紐解く』



「シラーのキリスト教星図・キリストの十字架」
千葉市立郷土博物館所蔵

クリスマスの頃、日が沈んだ西の空に、星の十字架が見えます。はくちょう座の北十字です。この十字架を、「キリストの十字架」として描いた星図書があります。1627年にドイツで発行された星図書で、著者はユリウス・シラー、一般に「シラーのキリスト教星図」と呼ばれています。古い天球図には、美しい星座絵と忘れられた星座が描かれています。

科学館入口付近の展示ケースに、この星図書とセラリウスのキリスト天球図、バイヤー星図書も展示されています。数百年前の貴重な天文資料を、この機会にぜひご覧ください。

また、キリストが誕生した時に、ベツレヘムの町の上空に明るい星が現れ、この星に導かれ三人の博士がやってきた、とのお話があります。この三博士も、「シラーのキリスト教星図」に描かれています。この「ベツレヘムの星」はどんな星なのでしょうか。

明るい星といえば、明け方の東の空には、明けの明星・金星が明るく輝いています。金星探査機「あかつき」が、金星周回軌道の再突入に成功し話題になりました。プラネタリムでクリスマスの夕暮れから夜明けまで、一晩じっくりと星空を満喫してください。

■日　時　/　１２月２０日（日曜日）午後５時～６時
■講　師　/　多賀治恵（元千葉市立郷土博物館学芸員）
　　岩下由美（国立天文台天文情報センター
　　特別客員研究員）
■会　場　/　千葉市科学館７階プラネタリウム
■参加方法/　７階券売機にてチケットを購入

主催：千葉市科学館　　企画協力：ちばサイエンスの会